

## 【議案 4】

# ESD-J 2024年度 事業計画（案）

< 2024年4月1日～2025年3月31日 >

## I 2024年度の活動方針

2024年度は、ESD-Jの組織体制を整え直し、財政基盤の安定化のために必要な措置を含め、今後の活動方針を見直す一年にしたいと考えています。組織基盤強化の検討で明らかになった①理事体制の改革、②安定的な財政基盤の構築とそれに見合った業務のスリム化、焦点化、そして③会員とのコミュニケーションの強化を中心的な方針として、活動を進めていきます。

2003年のESD-Jの発足から20年余を経て、ESDを取り巻く状況は大きく変わりました。2005年の国連ESDの10年の開始時には、我が国でESDについて知っている人は大変限られていました。ユネスコスクールを通じた学校教育におけるESDの浸透、ESD推進ネットワークの構築、学習指導要領への「持続可能な社会の創り手を育成する」旨の明記等により、ESDの重要性は多くの人に認識されるようになりました。他の多くの団体もESDに活発に取り組むようにもなりました。

他方で、2015年にSDGsが採択され、人々の関心がSDGsに集中するようになり、ESDへの関心が薄れたとの危機感を抱く人もいます。気候変動問題や生物多様性の喪失、環境汚染といった世界的な環境危機の中で、SDGsの達成、さらには将来の持続可能な社会の構築には人づくり、特に将来の社会を担う若い人材の育成がこれまで以上に重要になっています。

生成AIの急速な進展の一方で、気候危機の激化、地域紛争と深刻な人道危機、不平等の拡大などが起こりつつある中で、ESD-Jが今日的に果たすべき役割を再考し、自らの活動の再活性化に加え、関係する団体間のつながりを強化するための活動を行う一年にしたいと考えます。

### 【2030年に向けたESD-Jの中長期計画】

#### 【2030年に実現したい社会に向けた4つの活動目標】

- 目標1 地域におけるESDの実践・実践者・支援者を広げる。
- 目標2 行政、企業等との対話をもとに、政策提言・事業提案を行い、目指すべき方向性を示す。
- 目標3 国内の実践に活かせる国際情報を発信し、また、国内情報の海外発信と連携促進を図る。
- 目標4 会員のニーズにきちんと応えるため組織基盤を強化する

#### 【目標達成ための事業と具体的な活動】

◆人材育成事業	地域の実情に合ったESDの取組を広めていくため、実践者と連携・協働して、ESDやSDGsを普及するとともに、コーディネーター等、地域でSDGs、ESDを推進するための中核になる人材を育成します。
◆政策提言事業	ESD-J会員や地域の声を把握し、ESDやSDGsに関する事業に取り組み、政策や制度に関わる提言を行います。
◆国際連携事業	アジアNGOネットワーク（ANNE）をはじめとする海外とのESD推進ネットワークを構築・強化し、有益な情報収集発信を行います。ESD-Jが発信する情報を通じて、国際社会と交流できる人材、国際的な舞台に出ていく人材を育成します。

< 上記の事業の実施を支える活動 >



## 【議案4】

ネットワークの構築と活用、強化	・ 人材育成、政策提言、国際連携を支えます。 ・ 会員相互の交流の促進、エンパワーメントー特にユース団体とのネットワークの構築に注力します。
調査研究	具体的には、学校教育におけるESD取組の課題把握、多様な主体によるSDGs取組の状況把握と課題抽出等を行います。
情報収集と提供	具体的には、国際社会の課題のピックアップと、それへのESD的解説、国際ムーブメントとして参画可能な情報の収集と参加、国内外のSDGs達成状況の情報や、ESD実践状況、SDGs/ ESD事例・プログラムの紹介等を行います。
パートナーシップ	他団体と連携しながら、事業を進めます

## II 人材育成事業

新たな理事体制の下で、人材育成ワーキンググループの再構築を図り、既存の活動を活性化するとともに、新たな活動の可能性を模索する。

### 1 オンラインセミナーの実施

2024年度もオンラインセミナーを継続して行いたいと考えているが、理事体制が変わるために、人材育成WGのメンバーを再編し、以下のようなテーマを含めて、具体案を検討する。

#### (1) 持続可能な観光と地域社会の活性化

一般社団法人「責任ある旅行会社アライアンス：Japan Alliance of Responsible Travel Agencies (JARTA)」と連携し、持続可能な観光の推進とその結果としての地域社会の活性化に向けた連携・協働の可能性を模索する。まず、JARTAと協力して、サステナブル・ツーリズムと観光が持続可能な社会づくりや地域の活性化に果たしうる役割に関する教育者向けのセミナーの企画を検討する。

#### (2) 第12回世界環境教育推進会議（WEEC2024）結果報告会

2024年1月～2月にかけてUAEのドバイで開かれたWEEC2024の概要と成果について、会議の参加者による報告をESD関係者と共有する。

#### (3) 新たな生物多様性の動向に関する研修会

生物多様性国家戦略2023-2030の策定を受け、その内容について学ぶとともに、教育界においてどのような対応が求められるか、何が実施できるかを検討する。特に、小中学校を中心とする学校教員の理解を深めるための周知普及、研修活動を中心に行う。

### 2 効果的な情報発信の実施

#### (1) ESD-Jの広報ツールを通じた情報発信

ウェブサイト、Facebook、メルマガ、インスタなどを活用し、以下のようなESD活動に関する国内外の情報等の収集及び発信を行う。

- ① 海外の情報：国連、ユネスコ及び国連大学等国連関係機関、並びに海外のNGO、企業等が発信する情報収集・発信する。
- ② 国内の情報：国の行政機関、協力団体等全国規模の団体、及び地方の団体等が発信する情報で、広く全国に伝えることが有益と考えられるものを収集・発信する。

## 【議案4】

### 3 イベントの主催、実施

会員、一般の方々にESD-Jの活動、並びにESDに関連する様々な分野の活動に関心を高めてもらい、ESD的な行動変容を起こすきっかけ作りを積極的に行う。

#### (1) HESDフォーラム推進事業

HESDフォーラムは高等教育機関におけるESDを推進するために2007年に開始された高等教育機関のネットワークであり、これまで16回のフォーラムを開催している。現在ESD-Jが全体事務局を務めており、第17回HESDフォーラムを2023年9月23日に千葉商科大学で開催する。

#### (2) 自治体や企業、他団体との連携で行う事業・活動

自治体や企業等に対する営業活動、連携を探るための活動を実施する。また他団体との連携を深め、協働事業の実施を目指す。

#### (3) ESD-NET 2030 Global Meeting

ESD-NET 2030は、2030年に向けたESDの実施を促すことを目指して、加盟国と関係者の双方を支援するために立ち上げられたグローバルなネットワークであり、2023年12月に東京で開催された第1回ESD-NET Global MeetingにはESD-Jから3名が参加した。今後もESD-Net 2030のフォローアップを行う。

#### (4) 他団体と協働した人材育成事業の実施

四国グローバルネットワークや京都府(京都市左京区花脊地域)で活動をしているNPOと連携・協働をした事業を検討する。

## III 政策提言事業

政府等が出すESDに関連する政策、パブコメの募集に関して会員の意見を集め、ESD-Jとして意見を発出、政策提言を行う。政策提言を作成するための学習会などを実施する。

### 1 提言作成のための意見交換と情報収集

#### (1) 政策提言に関する学習会の開催

- ① 各地域で活動するESD-Jの会員等の意見を得ながら、市民社会から必要な政策を具体的に提言するための検討を行う。
- ② 人材育成事業であるオンラインセミナーとの連携を検討する。

#### (2) 国連ESDの10年(DESJ)終了後の10年間の成果と課題の総括

2014年にDESJが終了してから10年が経過した。その間に、ESDを巡る状況は大きく変化し、様々な進展がみられた。この10年間における成果と課題について、地域の現場の人たちとの対話を通じて、市民社会としての総括を行い、今後取り組むべき方向性を明らかにする。

### 2 環境省・文部科学省など関係省庁への提言活動

#### (1) ESD/SDGsに関する政策に係るパブリックコメント等への対応

ESD及びSDGsに関する政策についてパブリックコメントが出された際に、会員への周知を行う。また、ESD-Jとして会員の意見を集約し、政策提案の作成及び提出を行う。その場合に対話

## 【議案4】

の場を持つことも検討する。

### IV 国際連携事業

新理事体制の下で、国際連携WGメンバーを公募し、メンバーの増員を検討する。

#### 1 地域の実践に活かすための海外情報の国内発信

2024年度も引き続き国際MLを通じて国際会議の開催情報、結果情報、その他主要な国際的動向等の情報を発信する。

#### 2 ESDに関するアジアNGOネットワーク（ANNE）の再構築を含む国際的なESDネットワーク活動

ANNE再構築に向けた加盟団体の現状の調査・確認を行う。引き続きフィリピン、韓国等との情報交換を進めるとともに、新たな加盟団体を模索し、ANNEの再構築に向けた議論を開始する。

UNESCO-UNFCCCのウェビナー等への参加、及び国内関係者への情報の周知、参加の呼びかけを行う。

#### 3 在外邦人による海外におけるSDGs・ESD情報の発信

2023年度から、海外在住の日本人を通じて海外におけるSDGs・ESDへの取組状況に関する情報を発信しており、2024年度も継続する。

#### 4 過去にESD-Jの国際事業に関わった方（元理事含む）へのヒアリング

これまで阿部治相談役、竹内よし子元理事からヒアリングを行ったが、引き続き大島順子会員、大前純一会員、二ノ宮リムさち会員等へ、ESD-Jにおける国際連携活動の在り方に関する意見をお聞きする。

#### 5 台湾環境教育学会（CSEE）との交流

2024年5月29日～6月4日に総勢27人からなるCSEE訪日団を受け入れ、以下の学校、団体等を案内する。

5月29日	来日、スケジュール等打ち合わせ
5月30日	多摩市教育委員会、連光寺小学校、和田中学校
5月31日	ACCU、GEOC
6月1日	新渡戸文化高校、日本・台湾 小中学校ESD/環境教育シンポジウム、交流会
6月2日	横浜自然観察の森
6月3日	日本科学未来館
6月4日	帰国

その準備作業を日本環境教育学会と協力して実施する。また、本事業の一環として、6月1日に日本・台湾 小中学校ESD/環境教育シンポジウムを日本環境教育学会と共催で学習院大学にて対面で開催、その後交流会を開催する。

（詳細：<https://www.esd-j.org/2024/04/15/taiwansympo/>）

## 【議案4】

### V 運営体制、及び組織基盤強化

#### 1 ESD-J運営体制（2024年度）

##### 役員（理事14名、監事2名、相談役2名、顧問3名）

役職	氏名
代表理事	鈴木 克徳
副代表理事	浅井 孝司、池田 満之
理事	浅井 孝司、浅野 亮、池田 満之、金澤 裕司、小玉 敏也、新海 洋子、鈴木 克徳、福井 光彦、松田 直子、安田 昌則 理事推薦枠：増田 直広、新名 阿津子、三宅 博之、松田 剛也
監事	浅見 哲、吉岡 睦子
相談役	阿部 治、重 政子
顧問	池田 香代子、岡島 成行、高木 幹夫

##### 役員役割（暫定：新体制発足後に調整し確定する。）

役割	氏名
組織運営委員*	代表理事・副代表理事、その他代表理事が指名する者
総務・労務・経理担当理事	浅井 孝司、池田 満之
広報担当理事	福井 光彦、松田 直子、●●●●
人材育成事業	小玉 敏也、金澤 裕司、浅野 亮、安田 昌則
政策提言事業	新海 洋子、●●●●、●●●●
国際連携事業	鈴木 克徳、三宅 博之、●●●●
地域担当理事	【北海道】金澤 裕司、松田 剛也【東北】浅野 亮 【関東】増田 直広、小玉 敏也 【東海・北陸】新海 洋子 【近畿】松田 直子 【中国】池田 満之 【四国】新名 阿津子 【九州・沖縄】三宅 博之、安田 昌則
相談役	阿部 治、重 政子
監事	浅見 哲、吉岡 睦子
顧問	池田 香代子、岡島 成行、高木 幹夫

##### 事務局

役割	氏名
事務局長	横田美保
事務局スタッフ	齋藤さおり、後藤奈穂美

#### 2 組織基盤強化に向けた横断的活動

組織基盤の強化に関し、①ガバナンス体制を見直し、組織の意思決定の透明化、可視化を進めること、②組織の若返りを図り、組織の中核をなす者の世代交代を進めること、③組織の安定的な維持のための財政基盤の強化を図ること、④会員満足度を高める方策等の充実により会員の拡大を図ることの4つが重点課題とされ、2年程度の期間をかけて:理事等の議論により、またその結果を会員に公開し、2回にわたる説明会を開催して会員からの意見を聴取する等により、検討を進めた。その結果、概ね以下のような示唆が行われた。

## 【議案4】

- ① コミュニケーションの強化を含む理事体制の再活性化、内規等の規定の整備による透明性、説明責任の明確化等
  - ② ユース団体等の活動への積極的な参加と交流による相互の活動への理解の促進
  - ③ より地域に密着した活動の強化と、合併の可能性を含めた関連する他団体との連携の強化等
  - ④ 対面の会議開催を含む会員とのコミュニケーションの充実と会員のニーズの的確な把握等
- 2024年度総会でそれらの成果を報告し、ESD-Jの今後の方向性について検討いただく。

### 3 広報活動

引き続きオンラインセミナー・勉強会を開催し、地方のESD/SDGsの取り組み、ホットトピックの情報の発信・参加者間の情報交換、ESD-Jのファンづくりに努める。ウェブサイトの改定作業を継続し、より魅力的な情報発信に努める。昨年度のGoogle AnalyticsとGoogle Search ConsoleなどのWEB解析に基づき、発信する内容、見せ方、更新頻度等を工夫する。

下記の活動を行い、ESD-Jの会員を増やしたり、講演依頼などを増やしたりしていくための資料や広報のためのツールを増やし、ESD-Jを知っていただけるきっかけづくりを行う。

- (1) 講師派遣の広報資料の更新
- (2) 企業・団体等向けのESD-Jの団体紹介・提案資料の作成
- (3) 新理事の紹介動画の作成、団体紹介動画の作成と動画の周知  
(動画掲載先：<https://www.youtube.com/@esd-j5868/videos>)
- (4) ESD-Jの成果、ESD活動の成果の可視化のための情報収集・まとめ(上述の政策提言事業の1.(2)活動と併せての実施を検討する)

## VI 会議等予定

会議名	開催日	開催方法
<総会>	2024年6月22日(土)	電磁的方法で開催する
<理事会> 第1回理事会 第2回理事会 第3回理事会	2024年5月25日(土) 2024年11月 未定 2025年2月 未定	原則、電磁的方法で開催する  ※ 未定の会議日程については新理事体制の下で決定する。
<理事懇談会> 第1回理事懇談会 第2回理事懇談会 第3回理事懇談会	2024年4月13日(土) 2024年8月 未定 2024年12月 未定	

理事懇談会の位置づけの再検討を組織運営委員会を中心に行い、理事懇談会の実施回数を見直しを新理事体制で行う。

以上